

## はじめに

### 1 趣旨

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、効果的な教育行政の推進に資するほか、市民への説明責任を果たすため、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出し、公表している。

今年度は、2022年度（令和4年度）の教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、学識経験を有する者の意見を付し、報告書を作成した。

### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検評価の対象

教育委員会の活動状況及び2022年（令和4年）3月に策定した第三次福山市教育振興基本計画を基に、「就学前教育」、「学校教育」、「生涯学習・社会教育」、「文化財保護」の分野を対象に点検及び評価を行った。

■第三次福山市教育振興基本計画の体系図

基本理念	基本目標	基本施策	めざす姿（5年後の姿）	
「福山100NEN教育」の推進	<b>＜就学前教育＞</b>			
	心豊かにたくましく生きる力を育てる教育・保育の推進	学びの芽生えを育む遊びの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に向かって主体的に生活や遊びを進めている。</li> <li>●子どもの育ちと学びが、就学前から学校教育へ、切れ目なく、続いている。</li> </ul>	
	<b>＜学校教育＞</b>			
	学びに向かう力・学び続ける力を育成する学校教育の推進	主体的・対話的で深い学びの推進	●子どもたちは、内発的動機に基づき、様々な課題を発見し、解決に向け取り組んでいる。	
		多様な学びの場の充実	●子どもたちは、自分に合った学び方を選択し、学ぶ意欲を発揮できている。	
		学びをつくる教職員研修の充実	●教職員は、「学びのメカニズム」への理解を深め、子どもの学びを促す実践力が高まっている。	
		教職員が元気・笑顔で勤務できる環境の充実	●教職員は、個性を発揮しながら、子どもたちとともに自ら挑戦し続けている。	
		子どもの学びを支える教育環境の整備	●すべての子どもたちの学習機会が保障され、学校は安全・安心な居場所となっている。	
	<b>＜生涯学習・社会教育＞</b>			
	新しい時代の学びや地域づくりを支える生涯学習の推進	社会教育の充実	●多くの住民が、世代を超えて学び合い、様々な人々と協働する中で、主体的に地域づくりに取り組んでいる。	
知りたいを支える図書館サービスの充実		●図書館が地域の情報拠点として活用され、市民の暮らしに役立ち、生活を豊かにしている。		
<b>＜文化財保護＞</b>				
福山の誇りを次代へつなげる文化財の保存と活用	文化財の調査と保存	●福山の歴史文化とその価値を誰もが知り、触れ、学び、愛着と誇りを持ち、文化財を地域・社会全体で大切にしている。		
	地域と一体となった文化財の活用			

### 3 点検評価の方法

#### (1) 点検評価の視点

教育委員会会議の開催状況など教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、施策について、実施状況を点検及び評価し、成果と課題を踏まえた今後の取組の方向性を明らかにした。

評価については、数値指標のほか主な取組の実績などから総合的に判断して、「順調」「おおむね順調」「やや遅れ」「遅れ」の4段階で評価を行った。

#### (2) 学識経験者の知見の活用

点検及び評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者から、点検及び評価に関し意見を聴取した。(40ページに掲載)

名 前	役 職 等
伊澤 幸洋	福山市立大学副学長
永井 康浩	福山市PTA連合会会長
藤井 眞弓	福山市図書館協議会委員

(五十音順)